

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.863
2020.2.2

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/神田よしゆき
とりうみ敏行
松村 としお
久保 みきとば めぐみ
金子 あきよ
たけこし 連党市議団の
予算要望に
市が回答

民間学童支援員の 処遇改善が前進

1月27日、清水勇人市長より、党市議団の2020年度予算編成に関する要望書への回答を受け取りました。

清水市長は2020年度予算編成の特徴を「東京五輪2020大会の本市開催を好機ととらえてさらなる成長・発展を図る」「2019年台風19号による災害を教訓とした防災・減災対策の一層の強化」「Society5.0の時代に対応したスマートシティの取り組み」と紹介。予算規模はさいたま市政史上最大規模となる1兆58億円となります。回答を何点か紹介します。

民間学童支援員の処遇改善へ

党市議団の「放課後児童クラブ・学童保育の指導員の処遇改善と（略）指導員の専門性にふさわしい労働条件を確保するため、国の補助制度を満額活用すること」との要望に対し、市は「処遇改善費補助金制度を平成27



年度に創設して以降、対象者や交付額の拡充にとりくんできたが、令和2年度にも交付額を拡充する」と回答。今年度はそのための予算が約7620万円組まれています。

デイサービス型・ 宿泊型産後ケアが実施へ

党市議団の「産後ケアについて、デイケアやショートステイで利用できる設備がある『産後母子支援センター』を設置し、運営に助産師の力を借りること」との要望に対し、

2月議会 市民のねがい実現に全力

3件の請願の紹介議員に

党市議団は2月議会に提出された請願のうち、3件の請願の紹介議員になりました。請願は2月17日～19日でおこなわれる常任委員会に付託されたのち、審査・討論がおこなわれます。党市議団は請願の採択のため、全力をあげます。

請願名	提出者
芝川、綾瀬川流域への狩野川台風級の豪雨に対する大規模水害対策を早急に講じることを求める	緑区革新懇
特別養護老人ホーム待機者をゼロにするよう求める請願	さいたま市社保協
学校給食費の値上げを保護者負担としないように求める請願	個人

3件の意見書(案)を提出

また、党市議団として3件の意見書案を議会運営委員会に提出しました。議会運営委員会で協議されたのち、全会派で一致すれば国に送致されます。

- ① 地球温暖化対策のさらなる強化を求める意見書(案)
- ② 「仕事の世界における暴力とハラスメントの根絶に関する条約」の批准を求める意見書(案)
- ③ 公平・公正な大学入試改革を求める意見書(案)

市は「デイサービス型・宿泊型産後ケアについては、医療機関等の空床を活用する方法で実施できるよう関係機関との調整を図ったうえで、2020年度後半からの開始に向けて準備を進める」と回答しました。

油面川の川底はコンクリートに

台風19号により甚大な被害を受けた桜区

桜田地域に流入した水は、近くを流れる油面川からあふれた水でした。党市議団は油面川について「衛生面から川底をすべてコンクリートにすること。また水害対策を早急に進めること」と要望しましたが、市は「川底をすべてコンクリートにするための整備を検討する。水害対策として油面川排水機場整備を前倒して完成を目指す」と回答しました。

台風19号の復旧をすすめて

災害対策調査特別委員会



1月22日、台風19号災害対策調査特別委員会が開かれ、久保みき、たけこし連の両市議が出席しました。

各担当課から被害状況と復旧の現状、国の補正予算（国庫補助）を申請する事業について報告がありました。荒川堤外に位置する5つの公園および屋外の4カ所のスポーツ施設は、浸水による土砂の堆積や施設の破損等の被害を受けました。グラウンド等に堆積した土砂は、施設側で集積を進めています。土

砂の撤去・処分を市がおこなうにあたり、国庫補助（都市災害復旧事業）を申請する準備を進めているとのこと。

また、障害者・高齢者施設は床上浸水やエレベーターなど機器類の故障、浄化槽の冠水などがおこりました。市は国庫補助の申請について協議中であること、施設の備品につい

ても上限額を設け、補助されることが報告されました。

久保市議は「障害者支援施設では、栽培し販売していたイチゴが多額の損害を被ったり、卸売市場でも多額の損害が出ている。市独自で事業者にも災害見舞金を出すべきだ」と要望しました。

ハラスメントの労働相談急増 さいたま地区労働協議会と懇談

1月24日、党市議団は、さいたま地区労働組合協議会（さいたま地区労）と懇談をおこないました。

さいたま地区労は労働相談員を配置し、労働者や家族からの相談を受けています。懇談では、相談内容の実態をはじめ、職場でのパワーハラスメント（パワハラ）の実態等をうかがいました。相談内容は、セクシャルハラスメント（セクハラ）やいじめがもっとも多く、職種も派遣・運搬・介護・自動車教習所・ホテル業と多種多様です。低いコストで抑えようとする厳しい職場環境のなかで、人間性



さいたま地区労働と懇談する
党市議団

を否定する言葉や、人権を無視するような処遇が横行している実態を聞きました。また、ハラスメントを受けた労働者は職場に相談できないことが共通しており、このことが問題を長引かせ深刻化させています。

懇談に参加したとば市議は「労働組合の役割をあらためて認識した。党市議団はハラスメントを禁止する法整備を求めている。市議会でもとりあげていきたい」と話しました。

学校給食費の値上げ とんでもない！ 新日本婦人の会と懇談

1月21日、党市議団は新日本婦人の会（新婦人）のみなさんとの懇談をおこない、とりうみ敏行、金子あきよの両市議が参加しました。

参加したみなさんから、市が計画している小・中学校給食費の4月からの引き上げについて、「昨年9月議会で、私たちの出した請願（消費税増税を理由に給食費を上げないでください）に対して『値上げは考えていない』と答弁しておきながら、4月からの値上げの計画を発表するなんてとんでもない」という怒りの声が上がりました。とりうみ市議は「今回の値上げによる保護者の負担増の総額は概算で3億円。さいたま市にそのお金がないわけではない。力を合わせて値上げ計



懇談に参加する（右から）とりうみ、金子の両市議

画を撤回させましょう」と発言しました。

その他、大宮駅グランドセントラルステーション（GCS）化構想の推進、市民会館を駅前の再開発ビルに移転させて建て替えるなど、市民のくらしよりも大型開発優先の市政になっている問題、移転後の市民会館おおみやのホール使用料が大幅に引き上げられることで市民の文化活動に大きな影響が出る問題などについても活発に意見を交換しました。

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連